



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 金井 哲男 TEL 03-3259-7062  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月8日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	190,673	△14.3	4,064	△49.0	4,749	△44.6	1,230	△80.8
2020年3月期	222,469	△3.2	7,975	△21.3	8,565	△23.3	6,418	△15.3

(注) 包括利益 2021年3月期 7,699百万円 (－%) 2020年3月期 △274百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	30.40	—	0.8	1.6	2.1
2020年3月期	158.59	—	3.9	2.8	3.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 505百万円 2020年3月期 501百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	284,906	169,083	58.1	4,091.41
2020年3月期	296,427	164,339	54.3	3,978.44

(参考) 自己資本 2021年3月期 165,573百万円 2020年3月期 161,006百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	17,918	△3,737	△13,121	26,081
2020年3月期	17,226	△7,856	△5,295	25,008

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00	3,037	47.3	1.9
2021年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00	3,037	246.7	1.9
2022年3月期(予想)	—	37.50	—	37.50	75.00		86.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,000	15.4	2,000	—	3,000	—	2,000	—	49.42
通期	197,000	3.3	7,000	72.2	8,000	68.4	3,500	184.5	86.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	42,975,995株	2020年3月期	42,975,995株
② 期末自己株式数	2021年3月期	2,507,381株	2020年3月期	2,506,153株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	40,469,369株	2020年3月期	40,470,535株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	85,915	△9.1	2,627	△38.0	5,465	△24.2	5,164	1.2
2020年3月期	94,510	△2.7	4,237	△35.9	7,212	△25.6	5,104	△25.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	127.51	—
2020年3月期	126.04	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	260,791	158,567	60.8	3,915.22
2020年3月期	259,986	149,530	57.5	3,691.97

(参考) 自己資本 2021年3月期 158,567百万円 2020年3月期 149,530百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
役員の異動 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により上半期に大きく減退し、その後、段階的な経済活動の再開や、政府の各種政策により持ち直しの動きが見られましたが、足元では再度感染者数が増加に転じるなど、予断を許さない状況が継続しております。

世界経済は、ワクチンの普及や経済対策などにより景気が回復基調の国が見られるものの、一方では大規模な感染拡大が再発している国があるなど、地域によって大きく差が見られる状況で、また広範囲且つ長期化をしている米中対立の影響などもあり、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、全世界的な景気悪化の影響を受け、当期の売上高は190,673百万円と前期比14.3%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前期比3,816百万円減少の4,749百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比5,187百万円減少の1,230百万円となりました。

#### ② セグメント別の概況

##### (ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、国内建築需要の減少に加えて、不採算取引を見直したことによる影響、および米国建築用加工ガラス事業からの撤退により、売上高は前期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内外共に新型コロナウイルス感染症の影響による上半期の大幅な販売減により、国内、海外共に売上高は前期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による上半期の自動車分野の販売減が影響し、売上高は前期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は112,398百万円（前期比22.1%減）となり、損益につきましては3,020百万円の営業損失（前期比3,044百万円の悪化）となりました。

##### (化成品事業)

化学品につきましては、主力のハイドロフルオロオレフィン製品が、次世代溶剤の販売は順調に推移したものの、断熱用発泡剤が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出荷量が減少したことから、売上高は前期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、医療関連製品の販売は世界的に不急の手術が先送り傾向にあることから低調に推移したものの、堅調な半導体需要により半導体用途の特殊ガス関連製品の出荷が増加し、農薬関連製品、リチウムイオン電池用電解液製品の販売も好調に推移したため、売上高は前期を上回りました。

肥料につきましては、一部製品の需要が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は78,274百万円（前期比0.1%増）となり、損益につきましては7,084百万円の営業利益（前期比867百万円の減少）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べ、株価の上昇などで投資有価証券が8,283百万円増加する一方、有形固定資産が減価償却や減損処理、米国子会社での不採算設備の廃棄等により13,436百万円、繰延税金資産が3,665百万円、売上債権が3,463百万円それぞれ減少したことなどにより、11,520百万円減少し284,906百万円となりました。

負債はコマーシャル・ペーパーの償還などによりその他流動負債が11,819百万円、特別修繕引当金が3,249百万円、仕入債務が2,285百万円それぞれ減少したことなどにより、16,265百万円減少し115,822百万円となりました。

純資産は利益剰余金が1,212百万円、為替換算調整勘定が1,668百万円それぞれ減少する一方、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が6,358百万円増加したことなどにより、4,744百万円増加し169,083百万円となりました。また、自己資本比率は3.8%増加し58.1%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、1,072百万円増加し、26,081百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前当期純利益4,858百万円、減価償却費12,850百万円、減損損失の計上2,814百万円などにより、17,918百万円の収入(前期は17,226百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の売却による収入3,154百万円の収入の一方で、有形固定資産の取得による支出7,479百万円などにより、3,737百万円の支出(前期は7,856百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、コマーシャル・ペーパーの償還による支出11,000百万円、配当の支払による支出3,035百万円などにより、13,121百万円の支出(前期は5,295百万円の支出)となりました。

なお、当社グループの主要財政関連指標の推移は以下のとおりであります。

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	54.1	54.4	53.8	54.3	58.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	30.9	31.7	32.0	25.7	33.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.2	4.3	5.8	4.2	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	45.3	23.4	19.9	28.9	41.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算定しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち借入金及び社債等を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症による景気への影響が懸念される中、為替や重油の変動、米国と中国の政治並びに景気動向、世界的な地政学的リスクの高まりなど懸念材料が依然として残っており、当社グループを取り巻く環境は今後も予断を許さない状況が続くものと思われま。

当社グループといたしましては、生産販売体制の強化と原価低減の推進など経営全般にわたる効率化を進めるとともに、ガラス事業における構造改革の推進・実施、研究開発及び技術開発の強化、成長分野への経営資源の重点的な投入や海外展開の加速により、グループ企業力の強化に努めて参ります。

次期の業績の見通しは、以下のとおりであります。

売上高	1,970億円
営業利益	70億円
経常利益	80億円
当期純利益	35億円

なお、業績の見通しにおける前提条件につきましては、為替レート 105円/USドル、原油価格は CIF 62ドル/バレルとしております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当など

当社は、企業価値の最大化を目的とし、投資と資金調達の最適化を重視した資本構成を目標としております。利益配分については、企業体質の強化を図るため、研究開発や設備投資など将来の事業展開のための内部留保の充実を考慮しつつ、長期的視点に立って業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としております。

基本方針に基づき、中期計画（2018～2020年）の期間中においては、最終年度の経営目標としているROE6%をベースにしたDOEを1.8%、また株主総還元性向を30%以上という株主への利益還元の目標を設定しております。中期計画の最終年度にあたります当期は、中期計画で経営目標に掲げた営業利益、営業利益率、ROEは遺憾ながら未達となりましたが、期末配当金は期初に予定した1株につき37.5円とし、年間の配当金は、中間配当金の37.5円と合わせて1株当たり75円を予定し、設定した利益還元の目標を達成する安定的な配当を継続してまいります。

利益還元の目標指標は中期計画策定毎に見直すこととしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響やガラス事業における構造改革の進捗などの特殊要因の想定が困難な状況のため、次期中期計画については、2022～2024年を対象期間として策定することを予定しております。そのため次期（2022年3月期）の配当につきましては、現状の利益還元の目標を継続することとし、1株につき年間75円（中間37.5円、期末37.5円）を予定しております。

当社は、中期計画（2018～2020年）の期間中において、政策保有株式の縮減に関する方針に則り17銘柄、154億円の株式の売却を実施しておりますが、今後も事業環境、財務状況、構造改革の進捗を考慮しつつ適宜、売却を進め縮減に努めてまいります。また自己株式の取得については、財務状況、市場環境も踏まえたうえで、配当による利益還元を補完すべく機動的な実施を検討してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を適用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,256	27,975
受取手形及び売掛金	50,933	47,470
商品及び製品	29,687	28,737
仕掛品	4,605	4,156
原材料及び貯蔵品	18,440	18,774
その他	5,441	5,190
貸倒引当金	△717	△192
流動資産合計	134,646	132,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,929	104,600
減価償却累計額	△76,942	△76,694
建物及び構築物（純額）	29,987	27,906
機械装置及び運搬具	243,036	227,464
減価償却累計額	△191,981	△184,346
機械装置及び運搬具（純額）	51,054	43,118
土地	25,629	24,673
建設仮勘定	5,452	3,530
その他	29,798	28,843
減価償却累計額	△25,103	△24,689
その他（純額）	4,694	4,154
有形固定資産合計	116,818	103,382
無形固定資産		
その他	1,619	1,376
無形固定資産合計	1,619	1,376
投資その他の資産		
投資有価証券	34,231	42,514
長期貸付金	108	55
退職給付に係る資産	2,739	2,843
繰延税金資産	4,306	641
その他	2,086	2,099
貸倒引当金	△130	△120
投資その他の資産合計	43,342	48,034
固定資産合計	161,780	152,793
資産合計	296,427	284,906

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,779	18,493
短期借入金	14,399	8,419
1年内償還予定の社債	—	10,400
未払費用	9,480	8,749
未払法人税等	391	1,406
賞与引当金	1,424	1,370
その他	22,096	10,277
流動負債合計	68,572	59,116
固定負債		
社債	30,400	20,000
長期借入金	16,310	23,884
繰延税金負債	325	1,006
役員退職慰労引当金	3	3
特別修繕引当金	6,668	3,418
事業構造改善引当金	1,846	1,360
環境対策引当金	22	36
顧客補償等対応費用引当金	5	—
退職給付に係る負債	5,881	5,454
その他	2,052	1,542
固定負債合計	63,515	56,706
負債合計	132,088	115,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	132,418	131,205
自己株式	△6,398	△6,401
株主資本合計	152,297	151,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,501	16,859
繰延ヘッジ損益	△407	156
為替換算調整勘定	△1,735	△3,404
退職給付に係る調整累計額	350	878
その他の包括利益累計額合計	8,708	14,491
非支配株主持分	3,332	3,509
純資産合計	164,339	169,083
負債純資産合計	296,427	284,906



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	222,469	190,673
売上原価	176,307	152,072
売上総利益	46,162	38,600
販売費及び一般管理費	38,186	34,536
営業利益	7,975	4,064
営業外収益		
受取利息	112	45
受取配当金	924	816
持分法による投資利益	501	505
為替差益	—	17
受取賃貸料	553	506
受取保険金	145	1,407
その他	1,261	1,208
営業外収益合計	3,499	4,507
営業外費用		
支払利息	581	433
為替差損	251	—
固定資産廃棄損	717	751
たな卸資産廃棄損	445	600
貸倒引当金繰入額	32	—
災害による損失	134	1,403
その他	746	632
営業外費用合計	2,909	3,821
経常利益	8,565	4,749
特別利益		
固定資産売却益	—	2,265
投資有価証券売却益	1,293	754
特別修繕引当金戻入額	—	3,772
特別利益合計	1,293	6,793
特別損失		
固定資産売却損	5	19
減損損失	150	2,814
固定資産廃棄損	—	2,533
投資有価証券売却損	7	150
投資有価証券評価損	117	2
事業構造改善費用	602	1,161
関係会社清算損	—	1
特別損失合計	883	6,684
税金等調整前当期純利益	8,976	4,858
法人税、住民税及び事業税	1,138	1,873
法人税等調整額	867	1,076
法人税等合計	2,005	2,949
当期純利益	6,970	1,908
非支配株主に帰属する当期純利益	551	677
親会社株主に帰属する当期純利益	6,418	1,230

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	6,970	1,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,700	6,349
繰延ヘッジ損益	△543	563
為替換算調整勘定	△906	△1,673
退職給付に係る調整額	28	528
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	23
その他の包括利益合計	△7,244	5,791
包括利益	△274	7,699
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△751	6,992
非支配株主に係る包括利益	476	707

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	129,474	△6,395	149,356
当期変動額					
剰余金の配当			△3,541		△3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,418		6,418
連結範囲の変動			67		67
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分			△0	0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	2,944	△2	2,941
当期末残高	18,168	8,109	132,418	△6,398	152,297

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	16,211	136	△753	321	15,916	3,659	168,931
当期変動額							
剰余金の配当							△3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,418
連結範囲の変動							67
自己株式の取得							△3
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△5,710	△543	△981	28	△7,207	△326	△7,534
当期変動額合計	△5,710	△543	△981	28	△7,207	△326	△4,592
当期末残高	10,501	△407	△1,735	350	8,708	3,332	164,339

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	132,418	△6,398	152,297
当期変動額					
剰余金の配当			△3,035		△3,035
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,230		1,230
連結範囲の変動			592		592
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分			△0	0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△1,212	△2	△1,215
当期末残高	18,168	8,109	131,205	△6,401	151,082

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	10,501	△407	△1,735	350	8,708	3,332	164,339
当期変動額							
剰余金の配当							△3,035
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,230
連結範囲の変動							592
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	6,358	563	△1,668	528	5,782	176	5,959
当期変動額合計	6,358	563	△1,668	528	5,782	176	4,744
当期末残高	16,859	156	△3,404	878	14,491	3,509	169,083

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,976	4,858
減価償却費	12,930	12,850
減損損失	150	2,814
のれん償却額	6	—
引当金の増減額 (△は減少)	△328	△3,851
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,733	146
事業構造改善費用	446	616
受取利息及び受取配当金	△1,037	△861
支払利息	581	433
受取保険金	△145	△1,407
持分法による投資損益 (△は益)	△501	△505
投資有価証券評価損益 (△は益)	117	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,286	△603
関係会社清算損益 (△は益)	—	1
固定資産売却損益 (△は益)	△162	△2,244
固定資産廃棄損	717	3,285
売上債権の増減額 (△は増加)	2,277	4,659
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,635	866
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,414	△3,131
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,839	△426
未払費用の増減額 (△は減少)	△39	△767
その他	2,270	△85
小計	21,028	16,650
利息及び配当金の受取額	1,055	829
利息の支払額	△596	△430
保険金の受取額	145	1,407
法人税等の支払額	△4,406	△538
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,226	17,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,214	△2,166
定期預金の払戻による収入	667	1,563
有形固定資産の取得による支出	△13,354	△7,479
有形固定資産の売却による収入	239	3,154
投資有価証券の取得による支出	△987	△406
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,343	1,926
関係会社の整理による収入	—	237
事業譲渡による収入	1,080	—
その他	△632	△568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,856	△3,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,890	△6,529
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	11,000	△11,000
長期借入れによる収入	—	15,000
長期借入金の返済による支出	△7,142	△6,843
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△3,541	△3,035
非支配株主への配当金の支払額	△549	△530
その他	△167	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,295	△13,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,942	934
現金及び現金同等物の期首残高	21,023	25,008
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	138
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	42	—
現金及び現金同等物の期末残高	25,008	26,081

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に製品別・サービス別の事業部門を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループはそれぞれの事業部門を基礎とした「ガラス事業」と「化成品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ガラス事業」は主に、建築用ガラス、自動車用ガラス、ガラス繊維を製造販売しております。

「化成品事業」は主に、化学品、ファインケミカル、肥料を製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	144,236	78,232	222,469	—	222,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	1,172	1,184	△1,184	—
計	144,248	79,405	223,653	△1,184	222,469
セグメント利益	24	7,951	7,975	—	7,975
セグメント資産	152,543	144,209	296,753	△325	296,427
その他の項目					
減価償却費	6,524	6,405	12,930	—	12,930
のれんの償却額	6	—	6	—	6
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	4,821	7,113	11,935	—	11,935

(注) セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	112,398	78,274	190,673	—	190,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	1,039	1,051	△1,051	—
計	112,410	79,314	191,725	△1,051	190,673
セグメント利益又は損失(△)	△3,020	7,084	4,064	—	4,064
セグメント資産	137,536	147,708	285,244	△337	284,906
減価償却費	6,207	6,643	12,850	—	12,850
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	3,114	4,535	7,649	—	7,649

(注) セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	55	146	202

(注) 上記の減損損失の一部は「事業構造改善費用」に含めて表示しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	3,320	29	3,350

(注) 上記の減損損失の一部は「事業構造改善費用」に含めて表示しております。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,978円44銭	4,091円41銭
1株当たり当期純利益	158円59銭	30円40銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	6,418	1,230
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	6,418	1,230
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,470	40,469

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の異動

本日公表いたしました「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。